

# 熊本県感染症情報 (9月20日～9月26日)

KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

## ◆◆◆ 感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、水痘の報告が多い ◆◆◆

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	1	6	百日咳	1	3
RSウイルス感染症	7	5	ヘルパンギーナ	12	30
咽頭結膜熱	17	28	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	92	69
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	16	30	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	132	159	流行性角結膜炎 (はやり目)	11	16
水痘	37	34	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	26	35	無菌性髄膜炎	2	1
伝染性紅斑 (りんご病)	25	35	マイコプラズマ肺炎	2	1
突発性発しん	18	42	クラミジア肺炎	0	0

- 感染性胃腸炎は、報告数 132 件(前週報告数 159 件)と減少。  
地区別では、人吉、山鹿、八代に多く報告がみられる。  
年齢別では、10～14歳の24件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、報告数 92 件(前週報告数 69 件)と増加。  
地区別では、八代、人吉、菊池に多く報告がみられる。  
年齢別では、5歳の17件を最多に、10～14歳以下からの報告である。
- 水痘は、報告数 37 件(前週報告数 34 件)と増加。  
地区別では、天草、菊池、八代に報告が多くみられる。  
年齢別では、1歳の11件を最多に、5歳以下からの報告である。

### 多剤耐性菌

多剤耐性菌とは多くの抗菌薬(抗生剤)が効かなくなった細菌のことです。  
多剤耐性菌の感染力や病原性(病気を起こす力)は、耐性菌でない細菌と同じです。  
一般的には、健康な方の体の中に入ったり、皮膚や粘膜の表面についたりするだけで、すぐに病気になるわけではありませんが、体の抵抗力が落ちているときなどは、多剤耐性菌による感染症にかかることがあり、この場合、抗菌薬(抗生剤)が効かないため、治療が難しくなります。普段の生活の中でうつることはほとんどありませんが、手についた菌が口に入ってしまっただけで感染することがあるので、患者さんに接触した後(特にトイレを使用した後など)の手洗いはきちんとすることが大事です。  
腸管出血性大腸菌(O157など)やサルモネラなどの食中毒を起こす菌の消毒と同じように、加熱やアルコール系などの一般的な消毒薬が有効です。  
※詳しくは厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)をご覧ください

## ◆◆◆ 年齢別発生状況 (インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点) ◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	
インフルエンザ	1																					1
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上							
RSウイルス感染症	7	2	2	2	1																	
咽頭結膜熱	17		3	2	2	1	4	5														
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	16		1	1	1	1	2	2	3	2	2		2									
感染性胃腸炎	132		17	21	14	15	4	6	7	5	8	2	24	3	6							
水痘	37		4	11	10	2	6	4														
手足口病	26		2	10	7	4	1				1		1									
伝染性紅斑	25			4	3	2	3	2	6	1	1	1	2									
突発性発しん	18		14	3		1																
百日咳	1																					1
ヘルパンギーナ	12			3	3	2	1	1		1			1									
流行性耳下腺炎	92		1	8	12	14	16	17	12	8	1	2	1									
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	11					1		1			1		1		2	3			1			1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	2		1																			1
マイコプラズマ肺炎	2		1		1																	
クラミジア肺炎	0																					